

三島市スマート市役所宣言について

三島市は、デジタル手続法の基本原則の一つである「デジタルファースト」を実現し、世界に向けて三島市の魅力を科学的に発信分析するデジタルマーケティングを実践することで、市民の皆様迅速、便利で、質の高い行政サービスを提供するとともに、業務運用の効率化により生産性の高い行政運営を行うため、下記のとおりスマート市役所宣言をします。

先端技術で経済発展と社会的課題の解決を図る Society5.0 社会及び「誰一人取り残さない」世界の実現を目指す SDGs(持続可能な開発目標)に対応するために、AI や IoT などの先端技術やデジタルデータなどを積極的に活用する「デジタルファースト」により、便利で質の高い市民サービスの提供、生産性の高い行政運営、産業の活性化や産官学民が連携したまちづくりなどを行う「スマート市役所」の実現に向けて推進することを宣言します。

令和元年12月23日 三島市長 豊岡 武士

1 3つのデジタルファースト戦略

- (1) 市民サービスのデジタルファースト
- (2) 行政運営のデジタルファースト
- (3) まちづくりのデジタルファースト

2 3つの戦略の取り組み推進項目

- (1) 市民サービスのデジタルファースト

AI などデジタル技術を活用し、市民目線で迅速、便利な市民サービスを実現する

- ①窓口サービスのオンライン化
- ②AI を活用した問合せ対応
- ③スマホなど多様な市民ニーズに対応した情報発信
- ④ICT 活用による多言語対応

- ⑤キャッシュレス決済の推進
- ⑥災害時の迅速な窓口対応
- ⑦市民の情報を守る厳格なセキュリティ対策

(2) 行政運営のデジタルファースト

デジタルマーケティングの実践と AI などデジタル技術の活用により、政策がしっかり届き、効果が測定できる正確で生産性の高い行政運営を目指す

- ①観光など広報事業のデジタルを活用したマーケティングの推進
- ②作る：届ける：計測する＝3：6：1の考え方による広報の推進
- ③オープンデータの利活用推進
- ④AI や RPA など先端技術を活用した業務の効率化
- ⑤データセンターの積極的な活用によるクラウド化の推進
- ⑥デジタル技術を活用した働き方改革の推進

(3) まちづくりのデジタルファースト

デジタル技術やデジタル情報を活用して、産業の活性化や市の関係人口にとって魅力が伝わり効果が測定できるデジタルマーケティング、市民の利便性が高いスマートシティを推進する

- ①デジタル人材の育成
- ②産官学民が連携したデータ利活用の推進
- ③医療、介護、健康分野のデータ活用による健康寿命延伸
- ④ICT 活用による交通の最適化とインフラ管理
- ⑤ICT 活用による中小企業の生産性向上
- ⑥農業など各産業分野での AI 等先端技術の活用